



# 桜山小だより

## 【学校教育目標】

- ・(知) 夢を持ち楽しく学ぶ子
  - ・(徳) 心豊かに思いやる子
  - ・(体) 健康でたくましい子
- ～ともに夢を育む感動体験を通して～

7月号

令和7年7月18日発行

校長 ニロ 法子



## 地の利を生かした教育

本校では校区に教材となる環境、いわば「地の利」を多く得ています。4年前より埼玉県こども動物自然公園の協力を得て、6年生の総合的な学習の時間で「こども動物自然公園の飼育係さんと動物大研究」と題した探究的な学習を行っています。第1時には飼育員さんによる出前授業で、動物を調べるポイントをご教示いただきました。その後児童はそれぞれ調べたい動物を決め、グループを作り調べ学習を行ってきました。6月24日には実際に動物公園に出向き、実際の動物を観察しながら飼育員さんの説明を受けたり、事前に準備した質問に答えていたりしました。

今後児童は調べたことをスライドにまとめ、9月25日に動物公園にて発表会を行います。当日は園長さんをはじめ、都合をつけていただける飼育員さんをゲストとしてお招きする予定です。



## 一学期の終了にあたり

今学期は急な対応をお願いしたこともありましたが、皆様のご理解、ご協力を賜り、無事に一学期の終業式を終えることができました。心より感謝申し上げます。

今年度は生活目標を「元気なあいさつ」とし、機を捉えて児童に指導しております。校内では昨年度に比べ、児童からの元気なあいさつが多く聞こえるようになりました。他方、校外での様子について見守り隊の方々に伺ったところ「小さい子はよくあいさつしてくれるが、大きくなるとあいさつしなくなる」「班によっては一人もあいさつが返ってこないところもある」という声も聞いています。ご家族間でのお子様の「あいさつ」「返事」はいかがなものでしょうか。

人と関わる術や規範意識は、これまでの経験や学習によって学んだことをもとに、正否や善悪の価値基準として身につくものと考えます。学校では、子供たちが秩序ある体験を重ねることで規範意識を醸成することができるよう、日々教育活動を行っています。校長として危惧していることは、社会性の低下を個人の自由であるかのように捉え、個性としての「違い」の位置づけが規範を超え、無秩序な状況が生まれることです。これは決してあってはならないものと捉えています。

長期となる夏季休業中は、ご家族がお子様にとって最も身近な教育環境であるという意識で、人生の良き先輩として、身をもって規範の存在を示していただけますと幸いです。

本校児童のみならず皆様にとりましても、有意義な夏休みとなりますことを祈念いたします。

